

伊佐の学校教育

伊佐市教育委員会 学校教育課



「伊佐の学校教育」(九号)の発行にあたり

伊佐市教育委員会教育長 森 和範

爽りの秋も終わりに近づき、見渡す風景も変わりつつあるこの頃、市民の皆様には、かねてより地域と共にある学校への温かい御支援と御指導、また、地域の中で子どもたちを見守り、支えていただいておりますことに心から感謝申し上げます。

今年度、三中学校を再編成してスタートした大口中央中学校は、新たな伝統と歴史を築こうと教職員と生徒が心をひとつに、様々な教育活動が展開され、順調な船出を飾ることができています。また、菱刈中学校においても、先生方の指導の下に生徒会活動並びに学校行事等が真摯に取り組みられ、自分たちの学校を盛り上げようと努力する姿勢が出てきているところであります。

さて、伊佐市教育委員会では、本市の教育の目標として、平成二十七年、各小・中学校において知・徳・体の調和のとれた山坂道者な児童生徒の育成に努めております。現在、各学校においては、授業の充実、特色ある教育活動等をすすめて、「生きる力」を育む教育を展開しています。

また、今年度から大口地区では、小・中・高が連携した「英語教育強化地域拠点事業」を進めています。菱刈地区では、全小中学校が強く連携する「小中一貫教育」を展開しています。その教育成果に期待しています。

しかし、学校教育の重要課題の一つである「確かな学力の定着」においては、まだ課題が多くあります。この課題の改善にあたっては、各学校における学習指導の改善充実が欠かせないものですが、効果を高めるためには学校と家庭の連携による学習内容のつながり、つまり家庭学習の充実も欠かせないものであります。「生きる力」をもった児童生徒の育成にあたり、今後も引き続き御理解と御協力をお願いしたいと考えます。

今後一層、教職員一人一人が伊佐の子どものために心をひとつに課題の改善に取り組むとともに、学校間の連携も高め、伊佐市の全ての子どもの未来に大きく貢献できるように尽力したいと思います。市民の皆様様の各学校への御支援をよろしくお願いいたします。

知

確かな学力の定着を目指す学習指導の充実

全国学力・学習状況調査(平成二十七年四月実施)の結果について

この調査は、文部科学省が全国の小学校六年生及び中学三年生を対象に実施するもので、国語、算数・数学、理科の知識と活用の面の学力、学習や生活に関する状況を把握・分析するとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。平成二十七年度は、四月二十一日(火)に実施され、伊佐市内の小学六年生二一五名、中学三年生二〇三名が本調査に取り組みました。

※各種学力検査で示す学力は、児童生徒の学力の一部を示すものです。

学力調査について

各教科における本市の平均正答率及び県・全国との比較は次の表のとおりです。

【小学6年生】	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
伊佐市平均	62.2	58.1	67.4	34.6	59.2
県平均	68.4	65.8	75.9	42.5	63.4
全国平均	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
全国比較	-7.8	-7.3	-7.8	-10.4	-1.6

【中学3年生】	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
伊佐市平均	69.8	59.6	54.2	33.7	44.2
県平均	73.3	64.1	61.7	39.4	51.9
全国平均	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
全国比較	-6.0	-6.2	-10.2	-7.9	-8.8

本市平均正答率と全国や県との平均正答率を比べると、特に算数・数学においては、知識に関する問題・活用に関する問題ともに学力の差が大きく、課題があると考えられます。授業改善のポイントとして、基礎的・基本的事項の確実な定着を図るための反復練習を継続することや思考力・表現力の育成等に力を入れることが大切です。

この結果をふまえ、本市の学力向上の課題を次のようにとらえ、改善策を立て実施していきます。

《課題》

【小学校】
(国語) 複数の資料を読み、要旨を捉えることや適切な情報を取り出し、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように、自分の言葉でまとめることに課題があります。

(算数) 図に示された数量の関係を読み取り、比較量を求めることや、示された情報を整理し、筋道を立てて考え、判断した理由を言葉や数を使って説明することに課題があります。

(理科) グラフに示された事実を読み取り、その内容を、根拠を明確にしなが、分かりやすく説明することに課題があります。

【中学校】

(国語) 複数の資料から情報を読み取り、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように、また根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があります。

(数学) 小数を含む一元一次方程式、空間における図形的位置関係を的確に捉えること、構想を立てて説明することに課題があります。

(理科) 自然現象についての知識・理解に関する問題及び、観察や実験の結果を分析し、科学的な見方をして考察することに課題があります。

《改善策》

【小学校】
(国語) 必要な情報を収集し整理する中で、自分の考えを述べたり書いたりする学習活動の工夫
(算数) 資料や図・表などから読み取った情報を整理し、筋道を立てて根拠を明確にして解決に導く活動の充実
(理科) 実験や観察の結果を分析し、根拠を明らかにして考えを説明する活動の重視
実験や観察から得た知識を、日常生活に関連づけて考える活動の充実

【中学校】
(国語) 読み取った情報を整理する中で、根拠を明確にして、自分の考えを書く活動の重視
文章を読んで得られた知識を他の人に向けて説明する活動の重視
(数学) 数量や図形などについての知識・理解の習熟を図る時間の確保や家庭学習の充実
問題解決に必要な情報を収集し、根拠を明確にし、論理的に説明することができるよう活動の重視
(理科) 学習した知識・技能を活用できるように、関連した自然現象などについて、まとめたり説明したりする学習場の充実

学習状況「児童生徒質問紙」調査について
本調査は、児童生徒の学習状況をアンケート形式で調査し、まとめたものです。

「児童生徒質問紙」調査の結果から、小学生では「自分にはよいところがあると思いますか」、「学級みんなで協力して何かをやりたいですか」、「地域の行事に参加していますか」等の回答において全国平均以上の結果でした。しかし、次の表にあるとおり課題も見られました。

	小6			中3		
	伊佐市	県	全国	伊佐市	県	全国
① そう思う	51.2	39.4	33.4	42.5	39.2	36.7
② どちらかといえば、そう思う	18.3	27.4	26.7	27.0	28.6	27.7
③ どちらかといえば、そう思わない	19.2	19.0	22.5	19.0	19.2	20.6
④ そう思わない	11.3	14.1	17.3	11.5	12.9	15.0
無答	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1

	小6			中3		
	伊佐市	県	全国	伊佐市	県	全国
① そう思う	35.2	26.8	23.4	37.0	32.6	30.8
② どちらかといえば、そう思う	30.5	33.7	31.8	34.5	34.8	33.6
③ どちらかといえば、そう思わない	16.0	23.8	26.4	22.0	21.7	23.3
④ そう思わない	18.3	15.6	18.3	6.5	10.8	12.2
無答	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1

この表から、「感想文や説明文を書くことを難しい」と考えている。「自分の考えを他人に説明したり、文章にしたりすることが難しい。」などが課題として見られます。学校での指導改善と併せて、学校・家庭・地域が連携を図りながら、言語活動の充実に向けていく必要があります。

「土曜いきいき講座」頑張ってます

昨年度から小・中学生を対象に基礎学力向上を目的とした「土曜いきいき講座」を市役所菱刈庁舎で開設しています。五月十八日(土)の開講式からスタートし、毎週土曜日(午後二時～五時)に、小・中学生が楽しく生き生きと学習に取り組んでいます。現在、受講者は、六十六名(小学生十六名・中学生五十名)です。開講講座及び講師紹介、受講生の感想は次のとおりです。

時間割

	菱刈庁舎	1校時 14:00～14:50	2校時 15:00～15:50	3校時 16:00～16:50
基礎基本	3階大会議室A	中3国語コース	中1国語コース	中2国語コース
	3階大会議室B	中1数学コース	中2数学コース	中3数学コース
	3階中会議室	中2英語コース	中3英語コース	中1英語コース
教養	2階第1会議室	英語クラブ(英検3級コース)	英語クラブ(英検5級コース)	英語クラブ(英検4級コース)
	3階小会議室	パソコンクラブ	算数クラブ1 (算数検定7～8級コース)	算数クラブ1 (算数検定6級コース)

講師の先生紹介

	基礎・基本講座		教養講座	
国語	松元 洋行先生・森山 由美先生	英語	河野 リナ先生・川畑 恵子先生・村田 和代先生	
数学	西山 伸作先生・白石 京子先生	パソコン	田代 伊津子先生・高橋 裕之先生	
英語	本吉 章一先生・福田 敬盛先生	算数	田代 伊津子先生・高橋 裕之先生	

【受講生の子どもたちの感想】(抜粋)
 ○ 質問の時間が十分にあるし、分からない問題を繰り返し教えてもらえるから、数学・英語が分かるようになってきました。
 ○ 数学に参加して、テストの点数が上がったり、苦手なところができるようになったりしました。また信がたつて、難しい問題に取り組むことができました。「土曜いきいき講座」に参加してよかったと思います。

【お問い合わせ先】

伊佐市教育委員会学校教育課指導係

☎二六一一五三二

パワーアップ自習室・英語教室

夏休み期間中に、算数・数学・英語等の勉強をさらに進めたい、宿題を計画的に終わらせたい等の目標をもった子どもたちを集め標記の会を開催しました。

【夏休みパワーアップ自習室】

【実施日】平成二十七年八月十八日～二十日
 【会場】菱刈庁舎・大口元気こころ館(二時～四時)
 【対象】市内小学三年生～中学三年生 延べ百四人参加
 【講師】学校教育課職員 大口高等学校の生徒

【参加した子どもの感想】

○ とても勉強がはかどった。わからないところを大口高校のお姉さんたちが先生になって教えてくれたおかげで、楽しく勉強ができた。

【夏休み子ども英語教室】

【実施日】平成二十七年八月六日・七日
 【会場】菱刈改善センター 大口元気こころ館
 【対象】市内小学五・六年生 延べ二十三人参加
 【講師】河野リナ 大堀百合子 マイケル(A.L.T)

【参加した子どもの感想】

○ とても楽しく、英語について興味をもてた。ゲームや歌はとても満足で楽しかった。まだまだ英語教室のみんなとゲームをしたり、歌を歌ったりしたかった。

※パワーアップ自習室・子ども英語教室は冬休みも開催します。学校から案内文が配付されますので、お申し込みください。

土曜授業がスタートしました

伊佐市内の小・中学校において、十月からの原則第二土曜日、土曜授業がスタートしました。

土曜授業では、豊かな体験活動を基盤としながら、生きる力を育成するために様々な教育活動が行われます。今年度の土曜授業実施予定日は、十月十日、十一月七日、十一月十二日、一月九日、二月十二日の五回です。(十一月は国民文化祭を考慮して第一土曜日となります。)
 十月に実施した土曜授業では、各学校において地域の人材を活用した授業や教科指導等が行われました。なかでも菱刈中学校区の小学校では、五・六年生が一斉に集まり学習する、集合学習を開催しました。

今後、各学校においては、持久走大会や学力の向上に向けた取組を土曜授業の中で計画しているところもあります。是非、この機会に学校を訪問され、子どもたちの学習状況等をご覧ください。

体

KOBA式体幹トレーニングについて

今年度、体力向上の一環として体幹トレーニングを導入しました。巷で話題となっている体幹トレーニングですが、専門的かつ効果的に進めていくために、サッカー日本代表長友選手の専属トレーナーで体幹を鍛えるトレーニングの第一人者である木場克己さんに指導をしていただいています。今年度は、大口小学校(五・六年)、田中小学校(五・六年)、大口中央中学校(部活動生)、菱刈中学校(部活動生)を対象に年間八回の計画で取り組んでいます。



体幹とは、体の芯(主要部分)であり、胴体やその部分にある筋肉であるといえます。この部分を鍛えることは、柔軟性、安定性、バランス、運動性を高めることとなります。そうすることによって次の三つの効果を期待しています。

①効率的・効果的な体力の向上 ②バランス感覚の向上 ③集中力の向上

学力と体力は、車でいうところの両輪に当たります。どちらか片方だけを鍛えて大きくするだけではスムーズに進んではいきません。学習を効果的に進めていくためにもしっかりとした体作りが必要不可欠です。またどちらも一朝一夕には力がつくものではありません。コツコツ継続してこそ真の効果が生まれてきます。子どもたちや指導者が正しいトレーニング方法を知り、日々実践していくことが、体力のみならず学力を上げていくことにつながっていくと信じています。今年度の活動がより広く伊佐市の学校に浸透するように、小学校の体育主任等でもKOBA式トレーニングの研修を取り入れて、指導する側の資質向上にも努めています。毎回の指導の中で、子どもたちの真剣さや楽しさがよく伝わってきます。二月には、今年度のトレーニング成果を検証するために小学校の体力・運動能力調査(二回目)を対象校で行う予定です。

徳

第五回黄金の俳句コンクール

伊佐市教育委員会では、伊佐の子どもたちが、ふるさと伊佐での日頃の感動や発見を俳句として詠み、表現することで、心のなかの情景を大きく広げるとともに、作品を鑑賞した人にもふるさと伊佐を愛することができるようになることを目的に「黄金の俳句」コンクールを実施しております。今年度五回目となる今回、伊佐市内の小・中・高校生の作品、総出品数千八百五十八点が寄せられ、三次にわたる審査の結果、次の句が特別賞に選ばれました。

大賞

「大合唱 一家そろって 田植歌」
大口高等学校 二年 大塚 昇太

市長賞

「すぐ消える 空のスタンプ 花火だよ」
山野小学校 四年 出水 大翔
 「向日葵の 隣で妹 背伸びする」
大口中央中 三年 東 知輝
 「蝉の声 ぱたりと止んで 夏終わる」
大口明光学園高等学校 一年 濱 那奈

教育委員会賞

「せみの声 泳げ泳げと せ中おす」
針持小学校 三年 森園 諄也
 「飛び込むよ プールに写る 太陽へ」
大口中央中 二年 前田 流音
 「Tシャツに 努力の汗が にじむ夏」
伊佐農林高等学校 三年 迫田 彩蓮

あそびの行事がはじまりました

今年度から菱刈中学校区では、小中一貫教育をスタートしました。そこで掲げられた共通実践事項は、「あいさつ」「返事」「聴く」です。当たり前のことを当たり前にしかりやることはじつは、とても難しいことです。その習慣を今この時期にマスターして、よりよい生活につなげようと考えています。そこで「あいさつ」の取組として十月十日土曜授業の第一回目に、フリーアナウンサーの中村朋美さんを講師にお招きして「明るいあいさつができるようになる」をテーマに授業が展開されました。始めは恥ずかしがっていた子どもたちも少しずつ声のトーンが明るくなっ ていきました。礼の仕方も時と場合に応じて行うことも教えていただき、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。教えていただいたことを毎日の実践に生かしてこそ学習が生きていくと思います。保護者や地域の方々の見守りで育てていただきたいと思います。

